

ベストゴルフコースに輝く

リアビントン・ゴルフクラブ 正攻法



JUN OJIMA/文
リアビントン・ゴルフクラブ/写真提供

アワードウィナー・ゴルフコース

インドネシアのビントン島はシンガポールから高速フェリーで45分、3000を超えりオ諸島でも最も大きく、面積はシンガポールの約2倍もあり今でも多く残る手つかずの自然と白砂のビーチが人気の島だ。歴史上、海上交易の拠点として賑ったが、オランダとイギリスの植民地統治により分断されてからは、「シンガポールになれなかつた島」と言われ、凋落を辿ることになった。しかし、芸術や文学などのマレー文化が華やかに栄え、この島で王族により編纂されたリアウのマレー語史と文法書は、現在のインドネシア語の手本とされている。

「ビントン」とはインドネシア語で「星」という意味を表す。このビントン島に1997年からシンガポール政府とインドネシア政府のリゾート開発が始まり、現在では9つのホテルと4つのゴルフ場がある。近隣諸国の中でもシンガポールからここを訪

れる人が最も多い。

ゲリー・ブレイヤー設計のリアビントン・ゴルフクラブはオープン以来、数々の賞を受賞している。2005年はベスト・ゴルフコース・インドネシア（第1位）、ベスト・ゴルフコース・インドネシア（第2位）、ベスト・クラブハウス・インドネシア（第2位）に輝き、さらにUSゴルフダイジェストによる「トップ100ゴルフコース」のひとつにも選ばれている。

これらの受賞理由を、プロゴルファーとしての視点から見た場合、様々な要因があるが、なんといっても18ホールのグリーン全体のスピードが常に同じであることだと思ふ。ゴルファーにとって、練習グリーンからスタートしていくなかで、常に自分のフィリングや感覚でパターをしてミスするのは許されるが、グリーンコンディションに左右されるのは納得がいかないものがある。グリーンは生きているので、全部を同じスピードに仕上げるのは非常に難しいこととなる。

名物ゴルフコースを解く

ゴルフコースはチャンピオンコースのオーシャン18ホールと、フォレスト9ホール（現在9ホール造成中）の全27ホール。全長はブラックテイルから6470mと距離的に長くはない上、設計の段階から残された樹木の中でも、日本でお馴染みの松や椰子の木が大きくフェアウェイの方向に迫り出しているため、ティーグラウンドに立つとコースが非常に狭く感じられる。

またバミューダー芝のグリーンコンディションが良いのもこのコースの特長で、天気が良い日には9、10フィートになるため、プロゴルフトーナメントのグリーンの感触を体験することができ、通常アジアでのフェアウェイは芝がはげえたり、水捌けが悪いところが多かったりし

て、雨が少しでも降るとバギーがコース内に入れないのだが、リアビントンは手入れが行き届いているため、少々雨でもまったく問題ない。フェアウェイの刈り方もシマウマを思わせるようなゼブラカットで、こちらもブレイヤーの目を引き付ける。そしてデザインナーであるゲリー・ブレイヤー特有の無数の深いバンカーと大きな池を組み合わせたコントラストも鮮やかで、日本ではあまりお目にかからない光景だ。

さて、このコースの名物のホールが始まりは7番パー5。ティーグラウンドから大きな木に囲まれた右ドツレックのフェアウェイにドライブバーを打ちこなつていけば、セカンド地点から綺麗な水平線が見えてくる。グリーン周辺には左にあごの高い大きなバンカー、右には池、奥には海と、ツーンで攻めるとしても、または3打目でグリーンを捕らえるにしても、右に大

きく傾斜したグリーンが待ち構えている。攻め方としては、ボールの止まりにくい80m以内の距離を残さずP.W、S.Wで振り切れる距離を残し、果敢にピンを狙うことが適切かと思われる。

8番ホールパー4は、2000年に「アジア・ゴルフ・マンスリー・ベスト・パー4」にも選ばれたホールである。全長362mの打ち下ろしのホールで、20030m付近から直角に左に曲がっている。セカンド地点は左足下がり、場所によっては50mの打ち下ろしのショットになるので、セカンドショットは平坦な場所が残る1205150m地点に自分の距離を逆算してティショットを打つていくのがいいだろう。また、飛距離に自信のある方は、グリーン方向へワンオンを狙ってみてはいかがだろう。南海から吹き寄せの強烈な海風と豪快な景色を見ながらゴルフのできる幸せを感じられること請け合いです。

9番パー3は152mのや

や打ち下ろしのホールだが、グリーンの手前と左が断崖絶壁になっており、風が常に海の方から強烈に吹いてくるので、海を恐れずアドレスで右を向き過ぎないよう注意が必要になる。またクラブ選択の結果と自分を信じる気持ちが見れるコースであると付け加えておこう。

最後に独り言

「現在、世間一般には『女性の方が段々と強くなった』『男性は段々優しくなつてい』と言われていますが、まさにリアビントンは女性がコースを攻める時の強さと、男性の確実を守る優しさを必要としたゴルフコースではないでしょうか」

JUN OJIMA / プロゴルファー
1967年生まれ。1994年 GOLF MALAYSIA で執筆活動を開始。1997年から COMM PTE LTD にてラジオ・ゴルフエッセイ等で活躍中。現在は QUEEN'S GOLF RANGE でレッスンをを行い、毎月1回 THE REGEND GOLF CLUB にて1泊2日の集中ゴルフキャンプを行っている。詳しくはホームページ <http://www.jun-ojima.com> まで。